

東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画

平成26年度実績報告書

東村山市

目次

はじめに	1
施策の体系	2
26年度実績報告	
1. 発生抑制・排出抑制、再使用の推進	
(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み	
① 生ごみの水切りの促進	3
② 生ごみの自家処理の促進	3
③ 集団資源回収の推進	3
④ レジ袋の削減	4
⑤ リサイクルショップ活動の拡充	4
⑥ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者向け制度の検討	4
⑦ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化	5
⑧ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導	5
⑨ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督	5
⑩ 店頭回収の拡大(店頭回収)	6
⑩ 店頭回収の拡大(自動販売機脇回収容器)	6
(2) 再使用に関する取り組み	
① フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)	7
① フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)	7
② 家具等の再使用の促進	7
2. 合理的な収集と資源化の推進	
(1) 合理的な収集に関する取り組み	
① 収集形態の変更検討	8
② 収集区分・処理方式の変更検討	8
③ 円滑な収集・運搬の推進	8
(2) 資源化の推進に関する取り組み	
① 生ごみの資源化の推進	9
3. 安全で確実な処理体制の構築	
(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み	
① 施設の維持・整備の推進	10
② 焼却灰のエコセメント化の継続	10
③ ごみ焼却施設の延命化工事の実施	10
④ 熱回収設備の利用検討	11
⑤ 資源化施設の整備	11
⑥ ごみ処理施設更新の検討	11
4. 情報提供や環境学習の充実	
(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み	
① 啓発活動の推進	12
② 講座・学習・イベントの推進	12
③ 集合住宅の排出指導強化	12
④ 学校への出前授業等の実施	13
5. 市民・事業者との協働	
(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み	
① 廃棄物減量等推進員の活動推進	14
② 市民組織への支援と協働及び連携の推進	14
③ 市民・事業者との協働の推進	14

はじめに

本報告書は、平成 26 年度東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画の実施状況を取りまとめたものです。

東村山市では、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を計画期間とする東村山市一般廃棄物処理基本計画を策定し、『低炭素や効率性に配慮した循環型社会の実現』を基本理念として、5 つの基本方針に沿って 29 の施策を体系化しています。

これら 29 施策の具体的な取り組み内容や、10 年後の数値目標に向けた各年度のステップを取りまとめたものが東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画であり、進捗状況や社会背景の変化などを組み入れながら、毎年見直しをしていきます。

施策の体系

	基本方針	施策		
排出抑制計画	1.発生抑制・排出抑制、再使用の推進	(1)発生抑制・排出抑制に関する取り組み		
		① 生ごみの水切りの促進		
		② 生ごみの自家処理の促進		
		③ 集団資源回収の推進		
		④ レジ袋の削減		
		⑤ リサイクルショップ活動の拡充		
		⑥ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者向け制度の検討		
		⑦ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化		
		⑧ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導		
		⑨ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等指導・監督		
収集・運搬計画	2.合理的な収集と資源化の推進	(2)再使用に関する取り組み		
		① フリーマーケット、不用品交換の推進		
		② 家具等の再使用の促進		
		(1)合理的な収集に関する取り組み		
		① 収集形態の変更検討		
		② 収集区分・処理方式の変更検討		
		③ 円滑な収集・運搬の推進		
		(2)資源化の推進に関する取り組み		
		① 生ごみの資源化の推進		
		(3)分別区分と収集方法		
処理・処分計画	3.安全で確実な処理体制の構築	(1)安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み		
		① 施設の維持・整備の推進		
		② 焼却灰のエコセメント化の継続		
		③ ごみ焼却施設の延命化工事の実施		
		④ 熱回収設備の利用検討		
		⑤ 資源化施設の整備		
		⑥ ごみ処理施設更新の検討		
		(2)処理・再利用の流れ		
		4.情報提供や環境学習の充実	4.情報提供や環境学習の充実	(1)情報提供や環境学習の充実に関する取り組み
				① 啓発活動の推進
② 講座・学習・イベントの推進				
③ 集合住宅の排出指導強化				
④ 学校への出前授業等の実施				
5.市民・事業者との協働	5.市民・事業者との協働			(1)市民・事業者との協働に関する取り組み
				① 廃棄物減量等推進員の活動推進
				② 市民組織への支援と協働及び連携の推進
				③ 市民・事業者との協働の推進

平成26年度実績報告

基本方針1 発生抑制・排出抑制、再使用の推進

(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み

①生ごみの水切りの促進(関連：1-(1)-②、2-(2)-①)

施策展開	生ごみの水分量を減らすことは、ごみの減量につながるため、水切りを促進していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員の生ごみ減量部会と協働して、水切りアイデアについての情報収集や、夢ハウスまつりや市民産業まつりなどのイベント等においてPR活動を行った。 ・ホームページや、「ごみ見聞録」でPRを行った。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

②生ごみの自家処理の促進(関連：1-(1)-①、2-(2)-①)

施策展開	減量化容器の購入補助を継続しながら、生ごみを家庭菜園やガーデニング等で利用する自家処理を促進し、ごみの減量を進めていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夢ハウスまつりや市民産業まつり等のイベント、スーパー等での店頭説明会等においてPR活動を行った。 ・ホームページや「ごみ見聞録」等においてPRを行った。 ・東村山花と野菜の会による、生ごみ堆肥化相談コーナーを月1回実施した。 ・他自治体における取り組み状況調査の結果検証を行った。当市の補助台数は、他自治体と比較して低い数値というわけではなく、取り組み内容も、他市との大きな差がないことが判った。今後は引き続き状況も把握しながら、事業内容について考えていくこととする。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
生ごみ減量化容器の補助台数(基)	120	1,200	61	50.8%

③集団資源回収の推進

施策展開	新聞等の古紙回収については、新聞販売店での回収も定着しているなど、回収量の増加は困難性があるが、宅地開発や新築マンションなども含めて新たな団体の発掘を行っていくとともに、品目の追加について検討を進めていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会などの未登録団体に対し、積極的に参加の呼びかけを行った。 ・廃棄物減量等推進員の集団資源回収部会と協働して、イベントでのPR活動を行った。 ・回収品目拡大に向け、東多摩再資源化事業協同組合と検討を重ね、ネクタイおよび使用済みの肌着も回収することとした。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
集団資源回収参加団体数(団体)	139	150	139	100.0%

④レジ袋の削減(関連：1-(1)-⑥、1-(1)-⑩)

施策展開	市民意識が高く、レジ袋を辞退する率も高いことから、スーパー等の値引きやポイント付与などレジ袋の削減に向けた積極的な取り組みの継続を働きかけていくとともに、ドラッグストアや小売店舗等の未実施店への拡大も図っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ見聞録」および「夢ハウスだより」で、レジ袋削減協力店舗を紹介し、取り組み内容をPRした。 ・夢ハウスまつり等で、マイバック利用のPR活動を行った。 ・廃棄物減量等推進員のレジ袋削減部会と協働して、情報収集等を行い、協力店舗の増加につなげた。 			
計画目標		平成26年度実績		
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
レジ袋削減協力店舗数 (店舗)	26	33	26	100.0%

⑤リサイクルショップ活動の拡充(関連：1-(2)-①、1-(2)-②)

施策展開	継続事業の中でも一定の集約を行い、新たな事業展開を考えていく。また、新規事業については市民を取り込むような魅力あるイベントを計画していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルショップで開催される各種講習会でアンケートを実施し、講座内容や実施回数を見直しを行った。 ・毎月1回、美住リサイクルショップの活動や不用品交換情報が掲載された「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布している。 ・リサイクルフェア等のイベント時に、とんぼ市のPRを行った。 ・リサイクルフェアや産業まつりで「美住リサイクルショップ」についてのアンケートをおこない検証した結果、市民の認知度は低くはないが、イベント以外での来館者は少ないと判明した。 ・J：COM「ぐーたまナビ」で美住リサイクルショップの紹介を行った。 			
計画目標		平成26年度実績		
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
リサイクルショップ 入館者数(人)	22,000	25,000	18,143	82.5%

⑥ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者向け制度の検討(関連：1-(1)-④、1-(1)-⑩)

施策展開	ごみ見聞録をはじめとする広報紙やホームページを通じて、簡易包装やレジ袋削減等積極的、先進的な取り組みを行っている事業者の紹介やリストの公表を行い、取り組みの全市的な波及効果をねらっていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体に店頭回収やレジ袋削減事業についての調査を行っている。 ・「ごみ見聞録」にて、レジ袋削減協力店舗を紹介し、取り組み内容をPRした。 ・ホームページにて、レジ袋の削減や店頭回収の取り組みを行っている店舗を紹介している。 			
計画目標		平成26年度実績		
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

⑦事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化

施策展開	事業用指定袋の使用確認により実態の把握をして、対応を検討するための基礎資料とする。少量排出事業者の排出するごみが家庭系ごみに混入しないよう、指導を継続していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・少量排出事業所の台帳整理、現地調査を行った。 ・事業所の排出状況について、収集業者等から情報収集を行った。 ・情報収集結果をもとに現地調査を行い、少量排出事業者が家庭用ごみ袋で排出していることが判明した場合、事業系ごみ袋で排出するよう指導した。 ・事業系ごみが家庭系ごみとして排出されてしまうことを防ぐ取り組みについて、他自治体の状況調査および検証を行った結果、他自治体も同様の取り組みを行っていることが分かり、現在の取り組みを引き続き行っていくこととした。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

⑧事業系ごみ(民間収集分)の排出指導

施策展開	民間収集運搬業者抜き打ち検査の実施等により、排出事業者の分別減量化を促進するとともに、受入対象外のごみや、他市のごみを搬入する等の不適切な搬入を防止していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間収集業者が秋水園に搬入するごみについて、受け入れ対象外のごみが含まれてないか、不定期で検査を実施した。 ・検査の結果、受け入れ対象外のごみが含まれていた場合は、収集業者および排出事業所に対して、排出指導を行った。 ・定期的な検査・指導により、分別が徹底され、十分な効果が出ている。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
検査回数(回)	20	20	22	110.0%

⑨事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督

施策展開	事業用大規模建築物における廃棄物の減量及び再利用に関する計画書の提出により実態把握を行うなかで、発生抑制、排出抑制の推進等について、指導・監督を強化していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量および再利用に関する計画書を提出させ、それに基づき、現地調査を行った結果、分別、再資源化がされていることが確認できた。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

⑩店頭回収の拡大(店頭回収) (関連：1-(1)-④、1-(1)-⑥)

施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。また、自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭回収未実施店舗に協力依頼を行い、実施店舗数を拡大した。 ・店頭回収実施店舗をホームページや各種イベントで紹介した。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
回収店舗数(店舗)	27	40	28	103.7%

⑩店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)

施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。また、自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭回収部会と協働して、回収ボックスの現状確認、および設置依頼を行った。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
自動販売機脇回収ボックス設置率(%)	78.0	80.0	81.7 ※	104.7%

※平成26年3月時点での実績数値

(2) 再使用に関する取り組み

①フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット) (関連：1-(1)-⑤)

施策展開	フリーマーケットは市民のリユースの場として定着しているが、その効果を十分に把握し、さらなる発展を意識した展開も視野に入れていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケットの増加と内容について、美住リサイクルショップ運営委員と検討を行った。 ・フリーマーケットの出店者に対して、アンケートを実施し、利用者ニーズの把握を行った。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
市全体のフリーマーケット開催回数 (回)	12	12	13	108.3%
上記のうち、資源循環部開催回数 (回)	4	4	3	75.0%

①フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換) (関連：1-(1)-⑤)

施策展開	「とんぼ市」に関しては、その出品内容について再度精査、管理運用を徹底することで、より安心して市民が活用できる場として提供していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・とんぼ市(不用品交換)に参加しやすくなるよう、ホームページの内容を見直した。 ・フリーマーケットなどの各種イベントでのPRを行った。 ・毎月1回、美住リサイクルショップの活動や不用品交換情報が掲載された「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布している。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
とんぼ市不用品交換成立件数 (件)	170	200	111	65.3%

②家具等の再使用の促進 (関連：1-(1)-⑤)

施策展開	粗大ごみのうち再使用が可能な家具等については、再使用に向けた効果的、効率的な新たなルートの活用について、収集の方法も含めて検討を行っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じての再生家具類の確保を強化し、平成26年度実績で、約12tの再生家具類の引き抜きをおこなうことができている。平成25年度実績の約9tと比較すると、約3tの引き抜き増加となった。また販売実績についても、再生家具類販売件数1,825件、販売金額1,519,530円となっており、平成25年度実績と比較すると、販売件数400件の増、販売金額201,030円の増となった。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

基本方針2 合理的な収集と資源化の推進

(1) 合理的な収集に関する取り組み

①収集形態の変更検討(関連：2-(1)-②)

施策展開	より効率的で市民負担の軽減の可能性のあるかん、びん、有害物、ペットボトル、古紙・古着について、ステーション収集方式から戸別収集方式への変更の検討を行っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方変更について、実施日や各地域の収集曜日の具体的な決定をおこない、ホームページや広報誌にて、市民へ公表を行った。 市民のご理解・ご協力を得られるよう、出張説明会や市民説明会等において、ごみの出し方変更の内容説明をおこない、10月からのごみの出し方変更を円滑に行うことができた。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

②収集区分・処理方式の変更検討(関連：2-(1)-①、3-(1)-⑤)

施策展開	収集形態の変更の検討にあわせて、施設での選別・処理を合理的に組み合わせるため、かん、びん、有害物、ペットボトル、容器包装プラスチックのうちいくつかの品目の混合収集について検討を行っていく。また処理方式について、民間活用や袋の除去作業、機械や手作業による選別等が、効率的に行えるよう動線や設備の整備を検討していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトル外部処理の調整を進め、収集形態変更に伴い、民間業者への搬入を開始した。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

③円滑な収集・運搬の推進

施策展開	引き続き円滑で効率的な収集・運搬を行っていくよう委託業者に指導を行っていく。あわせて安全運転の励行、温室効果ガスの低減に配慮したアイドリングストップや車両の導入等の協力を求めていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 収集業者との連絡会議の中で、ごみ収集車の安全運転の徹底等について周知をした。 連絡会議の中で、収集形態の変更や年末の臨時収集についての周知をした。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

(2) 資源化の推進に関する取り組み

① 生ごみの資源化の推進(関連：1-(1)-①、1-(1)-②)

施策展開	生ごみ集団回収事業を通じて生ごみの資源化を進めることとし、参加世帯数の伸び悩み等に対しては、参加のしやすさやコストなどの要素を検討しながら取り組んでいく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年6月より、集団回収の事業を再開した。 ・市民産業まつり等のイベントや収集形態変更の市民説明会にてPR活動を行った。 ・参加者に対して、生ごみ堆肥化施設の見学会を実施した。 			
計画目標			平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
生ごみ集団回収 参加世帯数(世帯)	※	500	132	

※ 平成26年度は事業を円滑に再開することを目標としたため、目標数値の設定はしていない。

基本方針3 安全で確実な処理体制の構築

(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み

① 施設の維持・整備の推進

施策展開	定期点検及び必要な維持補修、整備の実施により、引き続き安全で確実な処理を行っていく。			
平成26年度の取り組み内容	・定期点検補修工事、クレーン年次点検補修工事を実施した。			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

② 焼却灰のエコセメント化の継続

施策展開	焼却灰については引き続きエコセメント化事業により、資源化を推進していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東京たま広域資源循環組合の焼却残渣受入基準を遵守し、エコセメント工場へ搬入した。 ・焼却残さの放射性物質濃度の測定を実施し、基準内であることを確認した。測定結果は当市のホームページに掲載するとともに、東京たま広域資源循環組合へ報告した。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

③ ごみ焼却施設の延命化工事の実施

施策展開	毎年実施する施設維持にかかる整備では対応ができない大規模な改修やこれまで着手したことのない設備の更新を含め、平成22年度から2か年でごみ焼却施設の約10年間の延命化及び耐震化工事を実施し、施設の耐久性、安全性、効率性の向上及び温室効果ガス排出の抑制を図っていく。			
平成26年度の取り組み内容	・平成23年度に工事完了し、施設の適正な維持管理を行っている。			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
温室効果ガス排出量 (トン)	1,903.0	1,903.0		

④熱回収設備の利用検討

施策展開	ごみ焼却施設から発生する余熱の有効活用について、既設熱回収設備をもとに検討を行っていく。			
平成26年度の取り組み内容	・平成24年度において検討を終了した。			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

⑤資源化施設の整備(関連：2-(1)-①、2-(1)-②)

施策展開	効率的で機能的な資源化施設（リサイクルセンター）を整備し、周辺的生活環境の向上とさらなるリサイクルの推進を図っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年6月にリサイクルセンターが竣工し、試運転をへて、本稼働を開始した。 ・10月より収集形態を変更し、びん・かん混合ごみの搬入を開始した。 ・リサイクルセンター施設の見学会を実施した。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

⑥ごみ処理施設更新の検討

施策展開	既存ごみ焼却施設の延命化工事後は、施設の安全性及び効率性等を考慮しながら、周辺自治体との広域的な連携・支援体制の検討を含め、ごみ処理施設更新の検討を行っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西秋川衛生組合等の視察をおこない、情報収集を行った。 ・全国都市清掃研究・事例発表会等、各種研修会に参加し、情報収集を行った。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

基本方針4 情報提供や環境学習の充実

(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み

①啓発活動の推進

施策展開	あらゆる機会を通じて市民・事業者の理解と協力を得るための啓発や情報提供を行っていく。ごみ見聞録や夢ハウスだより等の啓発誌についてはそれぞれの役割を見定めながら、さらに充実を図るよう努めていく。あわせて新たな情報の更新が容易なホームページの活用、充実を更に図っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方変更に向け、部内検討会を設置し、ごみカレンダーの掲載内容や全戸配布までのスケジュールの調整を行った。 ・「ごみ・資源収集カレンダー」と「分け方・出し方」を一本化したものを発行し、全戸配布を行った。 ・廃棄物減量等推進員の広報部会と協働して、「ごみ見聞録」の記事を作成、掲載した。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

②講座・学習・イベントの推進

施策展開	店頭や自治会等への出前講座を市民と直接的な対話の場として、積極的に実施していく。新たな学習の場として施設見学会等の企画により、家庭での分別の重要性や処理の流れなどの市民理解を深める方策を検討していく。また、各種イベント等の機会を見つけて、これらに積極的に参加し、啓発活動に努めていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夢ハウスまつりやリサイクルフェア等の各種イベントに参加し、PR活動を行った。 ・スーパーや自治会等で出前講座を実施した。 ・スーパーや公共施設等で収集形態変更の周知を行った。 ・美住リサイクルショップ運営委員による市民ごみ講座を実施した。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
出前講座開催回数 (回)	43	50	54	125.6%

③集合住宅の排出指導強化

施策展開	一部の集合住宅の集積所の中には、分別ルールや収集日を守らないごみが出されるケースが目立つことから、これらの集合住宅の管理人、オーナー、入居者に対して、ルール徹底の指導を強化していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・排出指導強化部会や収集業者等と連携し、分別が適切でない集合住宅の情報収集を行った。 ・管理会社の協力を得て、分別が適切でない集合住宅において、分別説明会を実施した。 ・分別説明会を実施しても分別が改善されない集合住宅には、排出指導を行った。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
実施回数(回)	15	15	17	113.3%

④学校への出前授業等の実施

施策展開	学校での出前授業等を実施することで、次世代を担う児童・生徒が資源化やルールに関する意識や理解を高めていけるように、教育委員会・学校との連携を図っていく。ひいては、児童、生徒の意識の高まりを通じて、家庭での意識改革に繋がられるよう努めていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の未実施校に働きかけをおこない、来年度の授業実施を依頼したが、中学校についてはカリキュラムの都合上、現状は出前授業の実施が難しいことが分かった。 ・ホームページで、出前授業の内容や資料についてPRした。 ・授業の教材や内容の充実を図った。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
出前授業実施校数 (校)	12	22	15	125.0%

基本方針5 市民・事業者との協働

(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み

① 廃棄物減量等推進員の活動推進

施策展開	53丁に配置されている廃棄物減量等推進員と市との意思疎通や連携を強化するとともに、研修会などを通じ、推進員相互の協働を促していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度立ち上げた集団資源回収・広報・研修・生ごみ減量・レジ袋削減・店頭回収・排出指導強化の各部会と協働で、各施策を進めた。 ・神奈川県相模原市のペットボトルリサイクル工場の視察研修を実施した。 ・夢ハウスまつりや市民産業まつり等のイベント参加を呼びかけ、推進員と協働でPR活動を行った。 ・推進員の日常活動時に携帯するため、廃棄物減量等推進員証を発行した。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

② 市民組織への支援と協働及び連携の推進

施策展開	既存の市民組織への情報提供や技術支援等をさらに進めるとともに、市民組織と行政が企画立案の段階から協議を行い、活発な事業展開を推進していく。さらに活動団体どうしの連携を促進していく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の運営委員会や会議に参加し、情報の共有化をはかるとともに、イベントを協働で行った。 ・各団体が主体となってリサイクルフェアが開催できるよう、各団体よりリサイクルフェア実行委員長を選出し準備を進めた。 ・夢ハウスまつりや市民産業まつり等の各種イベントに、各団体と連携して参加し、PR活動を行った。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

③ 市民・事業者との協働の推進

施策展開	市民・事業者との協働に心がけながら、各分野における施策の推進を図っていく。			
平成26年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市報、啓発紙、ホームページを通じて、秋水園の事業計画や施策などについて情報提供を行った。 ・廃棄物減量等推進員や収集業者、市民団体と連携し各施策を進めた。 ・資源物の持ち去り防止強化のため、GPS追跡調査を行い、搬入先の古紙問屋に対して、受け入れしないよう依頼を行った。 ・収集形態変更に向け収集業者との協議・調整を行い、変更を円滑に進めた。 			
	計画目標		平成26年度実績	
数値目標の単位	平成26年度 目標数値	平成32年度 最終目標数値	実績数値	目標達成率
数値目標設定なし				

一般廃棄物処理基本計画 実行計画
平成 26 年度実績報告書

平成 27 年 4 月発行

発行：東村山市資源循環部
〒189-8501 東京都東村山市本町 1 丁目 2 番地 3
TEL：042-393-5111(代) FAX：042-391-5847
(事務所：東村山市秋津町 4 丁目 17 番地 1)

